

Floppy's Phonics Stage 4 'Joe'

p.1

「この人、ジョーっていうんだ」チップが言いました。

「悲しいお話なんだよ」

p.2

「昔々のお話だよ」チップが言いました。

ジョーには家がありませんでした。それにひとりぼっちでした。

p.3

ジョーのコートはボロボロでした。

ブーツには穴があいていて、つま先が飛び出していました。

p.4

チップは眠りました。

夢の中でチップはジョーになっていました。

p.5

雪が降っています。

ジョーは寒くて震えていました。

「寒くて死にそうだ」

p.6

「石炭がここにしまっている」ジョーは言いました。

「このストーブのそばで眠ることにしよう」

p.7

男の人がストーブに石炭を入れようとやってきました。

そして眠っているジョーを起こしました。

「さっさと出ていけ」

p.8

男の人はジョーに出て行くように言いました。

「二度と来るな」

p.9

「雪の中はなんて寒いんだ」ジョーは言いました。

「少し眠らなきゃ」

「戻っておいでよ」

p.10

「ぼくはトビーだよ」男の子が言いました。

「こっちはローズ」

P.11

「このオートミールを食べて」ローズが言いました。

p.12-13

「このコートを着てごらん」トビーが言いました。

「このパンもどうぞ」ローズが言いました。

「親切にありがとう」

p.14

ジョーはまた雪の中へと戻って行きました。

「自分のうちがあつたらなあ」

p.15

チップは目が覚めました。

とても寒かったのです。

p.16

「パパ、ベッドに寝かせて」

「ジョーになるのはいやだよ」